



2018年10月31日

各位

会社名 ヤマトホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 山内 雅喜  
 (コード番号：9064 東証第1部)  
 問合せ先 専務取締役 財務戦略担当 芝崎 健一  
 (TEL. 03-3541-4141)

2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異  
 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2018年7月31日に公表した2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて、2019年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異

(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	780,000	15,000	15,000	9,000	22円83銭
実績値 (B)	789,131	23,435	22,756	9,981	25円32銭
増減額 (B-A)	9,131	8,435	7,756	981	2円49銭
増減率	1.2%	56.2%	51.7%	10.9%	—
(ご参考) 前期第2四半期累計実績 (2018年3月期第2四半期)	729,802	△12,887	△12,600	△12,087	△30円66銭

2. 2019年3月期通期連結業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,615,000	61,000	61,000	36,000	91円31銭
今回修正予想 (B)	1,620,000	66,000	66,000	37,000	93円84銭
増減額 (B-A)	5,000	5,000	5,000	1,000	2円53銭
増減率 %	0.3%	8.2%	8.2%	2.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	1,538,813	35,685	36,085	18,231	46円24銭

### 3. 業績予想値と実績値との差異および通期業績予想修正の理由

ヤマトグループは高品質なサービスを提供し続けるため、「働き方改革」を経営の中心に据え、労働環境の改善・整備を図るとともに、デリバリー事業においては、収益力の回復と集配キャパシティの拡大を両立させるべく、プライシングの適正化やお客様の信頼と期待に応えるための集配体制の強化など、ラストワンマイルネットワークの再構築を推進しています。

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、収入面は、宅急便取扱数量、単価ともに想定以上で推移したことなどにより、前回予想を上回りました。一方、費用面は、ほぼ予想通りに推移した結果、営業利益および経常利益は予想を上回りました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ヤマトホームコンビニエンス株式会社において将来の収益性を見直し、減損損失を計上したことおよび税効果会計の影響があったことなどから、前回予想に対して10.9%の増加にとどまりました。

通期の業績につきましては、第2四半期連結累計期間の業績やヤマトホームコンビニエンス株式会社が提供する個人のお客様向けを含むすべての引越サービスの新規受注を休止（2018年8月31日公表）した影響などを勘案し、前回発表予想（2018年7月31日発表）を修正することといたしました。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上